

日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）の概要についてのお知らせ

陸上自衛隊が、以下のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）を実施しますので、お知らせします。

1 目 的

陸上自衛隊と米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、共同対処能力の向上を図る。

この際、北海道の良好な訓練基盤を活用し、各種地形・気象下における空地連携による日米共同かつ諸職種協同の訓練及び実弾射撃を重視する。

2 期 間 令和2年1月22日（水）～2月8日（土）

3 場 所 北海道大演習場、矢臼別演習場、帯広駐屯地及び航空自衛隊千歳基地

4 担任官

（1）日本側：第5旅団長 陸将補 小瀬 幹雄

（2）米軍側：第3海兵師団長 少将 ウィリアム M ジャーニー

5 訓練実施部隊

（1）陸上自衛隊（約1,600名）

○第4普通科連隊、第5特科隊、第1対戦車ヘリコプター隊等

○装備品

89式小銃、5.56mm機関銃、81mm迫撃砲、99式155mm自走式榴弾砲、航空機（AH-1S）等

（2）米海兵隊（約2,500名）

○第4海兵連隊、第12海兵連隊第3大隊等

第36海兵航空軍群等

○装備品

5.56mm小銃、7.62mm機関銃、60mm迫撃砲、高機動ロケット砲システム（HIMARS）

航空機（MV-22、AH-1Z、UH-1Y）等

矢臼別演習場で予定されている内容は次のとおりです。

訓練内容 特科部隊による射撃、ヘリコプターによる射撃等

なお、MV-22 オスプレイの使用も計画されています。

問合せ先 ●陸上幕僚監部広報室 電話 03-3268-3111（内線 40084）

●別海町役場総務部総合政策課まちづくり推進担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）